

# 2018年度 環境活動レポート



※事業所内保育園「SGH Kids Garden」と共同育成したチューリップ

**SGムービング株式会社**  
**(対象範囲：本社、北関東営業所)**

本レポートの対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日

作成日：2019年7月1日

# 1.環境方針

## 環境方針

### <基本理念>

SGムービング株式会社は「迅速・確実・丁寧」の企業理念に加え、当社が事業活動を行う上で「環境」を重要なファクターとして位置付けるとともに、SGホールディングスグループの一員として「地球環境に配慮した循環型社会の形成に貢献するSGムービング」の実現を図るため、全従業員が参加し、自主的かつ継続的に地球環境の保全に取り組めます。

### <基本方針>

SGムービングは、環境に優しい運送・引越サービスを提供するため、以下の取り組みを実施します。

1. 環境経営システムに積極的に取り組むとともに、環境に関する法令や規則、条例を遵守します。
2. 地域社会及び取引先様の環境関連要求事項に配慮し、継続的な環境行動の改善を図ります。
3. 環境保全活動を実施するにあたり、環境目標及び行動計画として以下の重点事項を定め、取り組みます。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
    - ・省エネ活動による電力使用量の削減
    - ・エコドライブ運転による燃料使用量の削減
  - (2) 生活用水の節水による水資源投入量の削減
  - (3) 廃棄物の分別によるリサイクルの促進と廃棄物排出量の削減
  - (4) 事務用品等の備品・消耗品におけるグリーン購入の推進
4. 環境活動に関する情報は社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーション推進に努めます。
5. 本方針を全従業員に周知し、環境教育を行い、環境に対する意識の向上を図ります。

2017年7月21日

SGムービング株式会社  
代表取締役社長 別所 規至

## 2.組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

SGムービング株式会社

代表取締役社長 別所 規至

### (2) 所在地

本社：東京都江東区新砂1丁目8番2号 SGHビル新砂Ⅱ2階

札幌営業所：北海道札幌市東区伏古八条1-2-10

仙台営業所：宮城県仙台市宮城野区扇町4-6-8

北関東営業所：埼玉県三郷市インター南1丁目4番地2 GLP三郷Ⅲ

東京営業所：東京都江東区新木場2-14-11

西東京営業所：東京都立川市泉町935番地 立飛リアルエステート西地区221B号棟

西関東営業所：東京都町田市鶴間七丁目30番1号

横浜町田 ICロジスティクスセンター4F 東

名古屋営業所：愛知県小牧市舟津八反田136

京都営業所：京都府京都市伏見区横大路千両松町97

大阪営業所：大阪府大阪市此花区北港白津2-5-33

神戸営業所：兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町36-1

福岡営業所：福岡県福岡市博多区立花寺1-1-43

沖縄営業所：沖縄県豊見城市豊崎3-26 琉球通運航空ビル1階

### (3) 環境統括管理責任者氏名及び担当連絡先

環境統括管理責任者 管理部長：熊倉 一博

TEL：03-5857-2450 FAX：03-5857-2459

Eメール：k\_kumakura@sagawa-exp.co.jp

EA21事務局 管理部総務課：増田 博之

TEL：03-5857-2450 FAX：03-5857-2459

Eメール：h\_masuda001@sagawa-exp.co.jp

管理部総務課：田中 万由

TEL：03-5857-2450 FAX：03-5857-2459

Eメール：m\_tanaka039@sg-hldgs.co.jp

### (4) 事業活動の内容

運輸業（オフィス移転、大型家具家電設置輸送、大型施設一斉搬入、美術品等特殊輸送、機密文書溶解処理出張サービス、什器販売・施工）、損害保険代理業

(5) 産業廃棄物収集運搬業許可

全国 32カ所 (許可番号：053569)

(6) 事業の規模

資本金 1億円

### 3.対象範囲

(1) 登録組織名

S Gムービング株式会社 本社、北関東営業所

(2) 対象事業活動

運輸業（オフィス移転、大型家具家電設置輸送、大型施設一斉搬入、什器販売・施工）、  
損害保険代理業

(3) 対象事業所

本 社：東京都江東区新砂1丁目8番2号 SGHビル新砂Ⅱ2階

北関東営業所：埼玉県三郷市インター南1丁目4番地2 G L P三郷Ⅲ

(4) 対象外

西関東営業所：東京都町田市鶴間七丁目30番1号

横浜町田 I C ロジスティクスセンター4F東

(以上1営業所は2020年度に拡大予定)

東京営業所：東京都江東区新木場2-14-11

西東京営業所：東京都立川市泉町935番地 立飛リアルエステート西地区221B号棟

(以上2営業所は2021年度に拡大予定)

札幌営業所：北海道札幌市東区伏古八条1-2-10

仙台営業所：宮城県仙台市宮城野区扇町4-6-8

名古屋営業所：愛知県小牧市舟津八反田136

京都営業所：京都府京都市伏見区横大路千両松町97

大阪営業所：大阪府大阪市此花区北港白津2-5-33

(以上5営業所は2022年度に拡大予定)

神戸営業所：兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町36-1

福岡営業所：福岡県福岡市博多区立花寺1-1-43

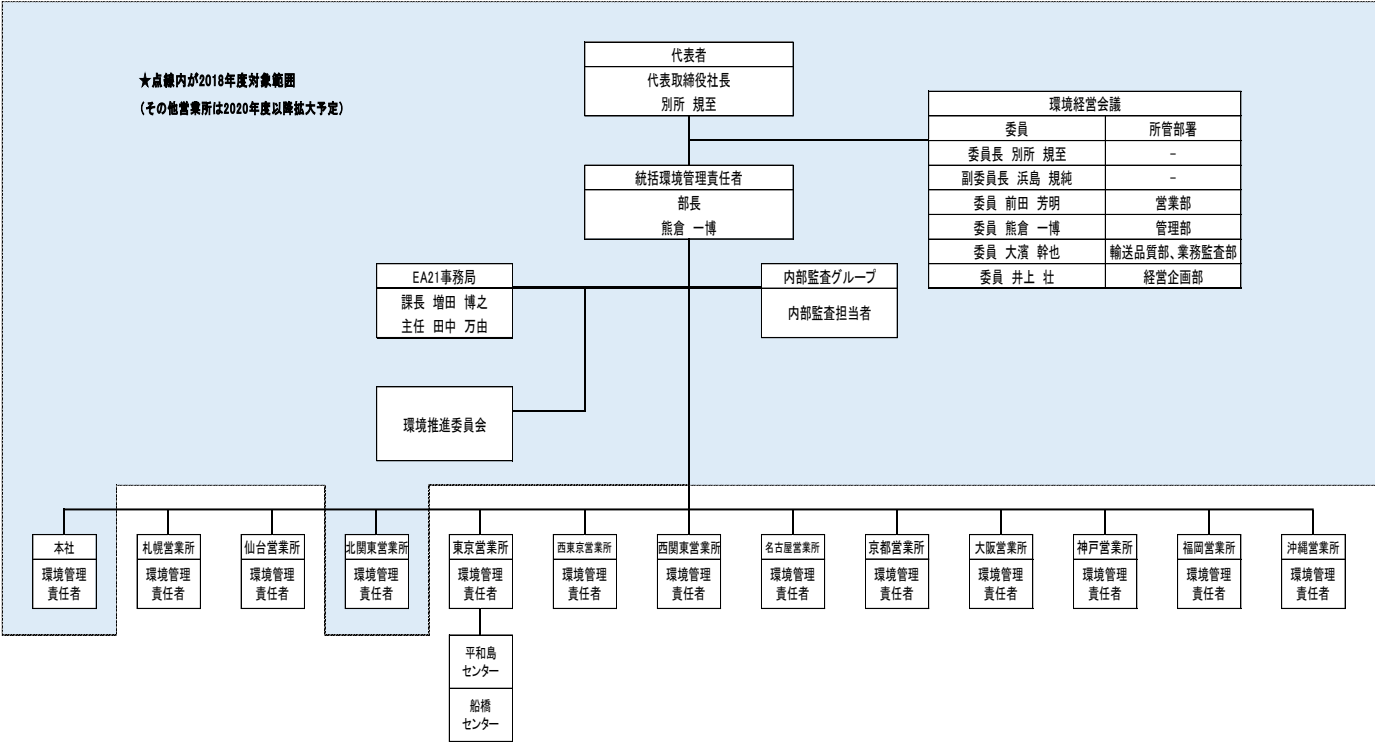
沖縄営業所：沖縄県豊見城市豊崎3-26 琉球通運航空ビル1階

(以上3営業所は2023年度に拡大予定)

# 4.実施体制

## SGムービング(株) 全体組織体制

2019年7月1日現在



# 5.環境目標とその実績

## ■ 中長期目標

※基準年度は2016年4月度～2017年3月度  
※CO2排出係数は、2015年度東京電力エナジーパートナー(株)の実排出係数0.500kg-CO2/kWhを使用した。

### (1) 本 社

目 標		単位	2016年度 ( 基準年 )	2017年度 ( 基準比 )	2018年度 ( 基準比 )	2019年度 ( 基準比 )
1	二酸化炭素排出量の削減 ※2018年度8月にコールセンターが開設され、人員が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg-CO2	105,712 ※移転前参考値	40,886 ※基準値とする	40,476 1%削減	46,037 ※基準値変更
	・電力使用量の削減 ※2018年度8月にコールセンターが開設され、人員が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg-CO2	85,760 ※移転前参考値	21,134 ※基準値とする	20,923 1%削減	26,683 ※基準値変更 1%削減
	・燃料使用量の削減	kg-CO2	19,952	19,752 1%削減	19,553 2%削減	19,354 3%削減
2	一般廃棄物排出量の削減 ※2018年度8月にコールセンターが開設され、人員が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg	数値なし	576.7 ※基準値とする	570.9 1%削減	840.2 ※基準値変更 1%削減
3	コピー用紙の削減 ※2018年度8月にコールセンターが開設され、人員が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg	2,002	1,982 1%削減	1,962 2%削減	2,126 ※基準値変更 1%削減
4	上水使用量の削減	m³	942 ※移転前参考値	共用のため 削減努力	共用のため 削減努力	共用のため 削減努力
5	グリーン購入 (エコマーク付事務用品の購入比率増加) ※2018年度より購入金額単位のカウントへ変更に伴い基準値を変更	%	購入比率 2.9%	購入比率 5% ※基準値変更	購入比率 7%	購入比率 10%
6	社会貢献活動	—	—	継続実施	継続実施	継続実施

### (2) 北関東営業所

目 標		単位	2016年度 ( 基準年 )	2017年度 ( 基準比 )	2018年度 ( 基準比 )	2019年度 ( 基準比 )
1	二酸化炭素排出量の削減 ※2018年度3月より賃貸面積が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg-CO2	95,634	94,677 1%削減	93,722 2%削減	122,263 ※基準値変更
	・電力使用量の削減 ※2018年度3月より賃貸面積が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg-CO2	16,830	16,662 1%削減	16,494 2%削減	45,824 ※基準値変更 1%削減
	・燃料使用量の削減 ※CNGは現在使用していないため除く	kg-CO2	78,804	78,015 1%削減	77,228 2%削減	76,440 3%削減
2	一般廃棄物排出量の削減	kg	数値なし	203.6 ※基準値とする	201.6 1%削減	199.5 2%削減
3	コピー用紙の削減 ※業務量の増加に伴い、使用量の絶対値が増加したため、2019年度より基準値を変更。	kg	575.0	569.3 1%削減	563.5 2%削減	1,340.5 ※基準値変更 1%削減
4	上水使用量の削減	m³	共用のため 数値なし	共用のため 削減努力	共用のため 削減努力	共用のため 削減努力
5	グリーン購入 (エコマーク付事務用品の購入比率増加) ※2018年度より購入金額単位のカウントへ変更に伴い基準値を変更	%	購入比率 31.7%	購入比率 35%	購入比率 37%	購入比率 40%
6	効率的な配車の推進 ※残業時間にて目標設定	時間	55.0	53.9 2%削減	52.8 4%削減	52.3 5%削減

## ■ 2018年度運用結果（2018年4月～2019年3月）

※基準年は2016年4月～2017年3月

※CO<sub>2</sub>排出係数は、2015年度東京電力エナジーパートナー(株)の実排出係数0.500kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

※グリーン購入の目標比率は基準年の年間平均から5%増で算出した。

※達成状況 ○ 目標達成 △ 目標未達成但し基準年比減 × 目標未達成

### (1) 本 社

環境目標(本社)			2018年4月～2019年3月			
			基準値	目標	実績	達成状況
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	40,886	40,476	41,479	×
	・電力使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	21,134	20,923	24,893	×
	・燃料使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	19,952	19,553	16,586	○
2	廃棄物排出量削減					
	・一般廃棄物	kg	576.7	570.9	771.5	×
3	コピー用紙の削減	kg	2,002	1,962	1,964	△
4	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	－	共用のため 節水努力	共用のため 節水努力	－
5	グリーン購入	%	5.0%	7.0%	2.5%	×
6	社会貢献活動	－	・江東区アダプトプログラム参加継続 ・保育園と共同で実施する緑化活動継続			

### (2) 北関東営業所

環境目標(北関東)			2018年4月～2019年3月			
			基準値	目標	実績	達成状況
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	95,634	93,721	75,755	○
	・電力使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	16,830	16,494	15,726	○
	・燃料使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	78,804	77,227	60,029	○
2	廃棄物排出量削減					
	・一般廃棄物	kg	203.6	201.6	186.4	○
3	コピー用紙の削減	kg	575.0	563.5	1,354.0	×
4	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	－	共用のため 節水努力	共用のため 節水努力	－
5	グリーン購入	%	31.7%	37.0%	41.5%	○
6	効率的な配車の推進 (残業時間にて目標設定)	時間	55.0	52.8	51.9	○

# 6.環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

## (1) 本 社

環境活動計画（本社）	取組結果と評価	次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量削減（電気）</b> ■グループ環境行動（夏季・冬季）節電強化運動の実施 ・環境推進委員による温度管理の徹底、温度記録計による検証 ★夏季 室温28℃ ★冬季 室温20℃ ・帰社時・外出時のPC電源OFF、離席時のモニターOFF （共用パソコンについては担当者を決め管理する） ■クールビズ、ウォームビズの励行（ドレスコード再検証） ■朝礼での周知徹底	温度記録計抽出データによる検証を行い、エアコン温度の適正管理を行った。クールビズ・ウォームビズに合わせたドレスコードの再検証、責任者の写真入りオリジナル節電ポスターの掲示、ライトダウンデーの実施など、具体的な取組みを行うことができた。	業務体制の変更により、8月以降人員及び電子機器類の増設が発生し、絶対値が増加した。 2019年度は、2018年度のデータを踏まえて目標値及び取り組みの見直しが必要。
<b>二酸化炭素排出量削減（自動車燃料）</b> ■エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの励行 ・急加速・急停車の防止 ■法定点検の実施 ■ノーカーデーの実施（本社社有車）	啓発活動及び点検の継続、ノーカーデー等の取り組み及び走行距離の減少等により目標を達成した。	ノーカーデーは継続して実施し、社有車使用の抑制に向けた意識付けを行っていく。
<b>一般廃棄物の削減</b> ■分かりやすいごみ分別の掲示 ■使い捨て製品（紙コップ等）の使用抑制 ■詰め替え可能な製品の購入 ■梱包材の再利用	分別についてわかりやすいポスターを掲示しているが、リサイクルできる古紙類（紙箱や付箋など）が可燃物として捨てられていたり、可燃物と不燃物の分別が徹底されていないことが多々見られる。 従業員が増え、分別が徹底されていない傾向がある。再度周知徹底が必要。	定期的に分別ポスターのデザインを変える等、注目を集める工夫をする。 新たに入社した従業員にも教育資料を配布し、分別方法を周知徹底する。 業務体制の変更により、8月以降人員増加に伴い絶対値も増加しているため、目標値の見直しが必要。
<b>コピー用紙使用量の削減</b> ■印刷物は必要最小限にする ■両面印刷・2アップの活用 ※情報保護の観点から書類の裏紙は使用しない	会議時には電子ホワイトボードによる資料投影及びデジタルデータ共有を行っている。 印刷方法の工夫についてのポスターを作成し掲示している。	来期からiPad会議導入により更なる削減を図る。 両面・2アップ活用促進を継続促進すると共に、コピー料金の掲示等により、削減意識の向上に向けて取り組みを実施する。 コールセンター開設に伴い、複合機を1台追加したため絶対値が増加したため、目標値の見直しが必要。
<b>水使用量の削減</b> ■節水の励行、ポスターの掲示 ■トイレに擬音装置取り付け	<u>※共用のため節減努力</u> 節水ポスターを掲示している。共用女子トイレは擬音装置を設置しているため過大な流水はない。 打ち水イベントでは保育園のプールの水を二次利用水として再利用した。	取組みは継続して実施する。
<b>事務用品のグリーン購入</b> ■グリーン購入対象品目調査 ■環境に配慮した物品等購入の推奨	年間を通して、可能な備品についてはグリーン購入対象品を選択して購入できた。カタログ掲載についても4月度から掲載され、全営業所に案内できたため、今後も継続的にグリーン購入を行う。	継続してグリーン購入を推進する。
<b>社会貢献活動の実施</b> ■江東区アダプトプログラム（清掃活動）の参加登録、実施 ■保育園との協働による環境活動（グリーンカーテン育成・打ち水イベントの実施）	グループ会社及び外部との協働によるコミュニケーション推進や積極的な情報発信を行っている。	取組みは継続して実施する。新しい情報を積極的に収集し、一部の社員だけでなく、事務所全体が関心をもって参加できるよう工夫が必要。また、SDGsなどCSR活動と融合した取り組みを模索していく。



## (2) 北関東営業所

環境活動計画（北関東）	取組結果と評価	次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量削減（電気）</b> <b>■グループ環境行動（夏季・冬季）節電強化運動の実施</b> ・事務所エコ責任者による温度管理の徹底 ★夏季 室温28℃ ★冬季 室温20℃ ・不要照明の消灯・間引き ・帰社時・外出時のPC電源OFF、離席時のモニターOFF（共用パソコンについては担当者を決め管理する） ・ブラインド調整による日光を利用した照明使用の削減 <b>■クールビズ、ウォームビズの励行</b> <b>■空調機の定期清掃</b> <b>■朝礼での周知徹底</b>	エアコンの温度設定の徹底等、継続して取り組みを行うことで、無駄な電気使用に関する従業員の意識は根付いてきている。	エアコンの温度設定、照明の使用頻度だけでなくポットや冷蔵庫の設定温度など無理なく節電できる事は継続して実施する。 賃貸面積が拡大したため、目標値の見直しが必要。
<b>二酸化炭素排出量削減（自動車燃料）</b> <b>■エコドライブの徹底</b> ・SRV（ドライブレコーダー）の活用による急加速・急停車の防止 ・アイドリングストップの励行 <b>■配車の効率化</b> ・渋滞情報を確認し、回避する ⇒点呼簿に確認の有無をチェック <b>■定期点検の実施（タイヤ空気圧のチェック）</b>	エコドライブは会社を上げて取り組んでおり、売上げが向上して自社稼働率が上がっているにも関わらず燃料の使用量が減少しているため、効果が出ていると判断できる。	取組みは継続して実施する。
<b>一般廃棄物の削減</b> ※1回の平均4.1kgにて試算する。 <b>■分別回収ボックスを設置する</b> <b>■印刷物は必要最小限にする</b> <b>■両面印刷・2アップの活用</b> <b>■詰め替え可能な製品の購入</b> <b>■梱包材の再利用</b>	分別は徹底や、梱包材の再利用を継続している。	外出先で購入した品のゴミは営業所内に持ち込まないようにするなど今後もゴミの削減に努める。
<b>コピー用紙使用量の削減</b> <b>■印刷物は必要最小限にする</b> <b>■両面印刷・2アップの活用</b> ※情報保護の観点から書類の裏紙は使用しないこと <b>■ポスターの掲示</b>	ポスターを掲示し両面印刷・2アップの呼びかけを行っているものの、4月より設置案件の出荷が基準年度の2倍以上になり常駐便も増えたため、指示書の使用枚数が増加してしまった。目標値の再検討が必要。	目標値の再検討を実施すると共に、業務量の分散のため、昨年度から取り組んでいる設置案件をエリア委託できる協力会社の開拓を引き続き行う。
<b>水使用量の削減</b> <b>■節水を呼び掛けるポスターの掲示</b> <b>■朝礼での周知徹底</b>	<b>※共用のため節減努力</b> 節水ポスターを掲示した。	取組みは継続して実施する。
<b>事務用品のグリーン購入</b> <b>■環境に配慮した物品等購入の推奨</b>	意識して購入しているが、具体的な取組みは進んでいない。	現状グリーン購入している品目がコピー用紙のみのための他の備品もグリーン購入対象品に変える。
<b>効率的な配車の推進</b> <b>■2016年1日の平均配送件数12件を13件に引き上げる</b> <b>■月間の走行距離の短縮と出庫から帰庫までの時間の短縮を図る。（残業時間で検証）</b> <b>■配車表に移動時間を記載する</b> <b>■クライアントごとの配車ではなくエリアで配車を行う</b> ※運転職の残業時間と配送件数を比較し評価をする	配車の標準化を図り、走行距離と残業時間の短縮を責任者が再度指導することで従業員に早く帰る習慣が少しずつではあるが定着してきている。	月によってバラつきがあるので、荷物が増えた時も残業が抑えられる用にさらなる効率を考えて配車を行うようにする。

## 7.環境関連法規の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について、その遵守状況を確認・評価した結果、これらへの違反はありませんでした。  
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 8.代表者による全体評価と見直しの結果

北関東営業所については、二酸化炭素排出量の削減目標は達成できており、その他の項目についても概ね順調に推進できているが、本社については業務体制の変更による事務所内の人員増加の影響により、目標未達成となっている項目が多くみられた。基準年度の状況と現在の状況は大きく変化しているため、基準年度及び目標の見直しを検討する必要がある。

そのうえで、目標達成のための取組内容の工夫及び、全国事業所への順次拡大を視野に入れた会社全体への波及が次年度の課題である。

### <事業所内保育園と共同実施した省エネ・緑化活動>

当社従業員と保育園の子ども達と一緒にグリーンカーテンや野菜作り、打ち水を行うことで、コミュニケーションの推進や自然と触れ合うことによる環境意識の向上を図っている。



緑化活動で使用した土は毎回リサイクルをして次の苗を植える



夏季は朝顔とゴーヤのグリーンカーテン、トマト、黄色とうがらしを、冬季はチューリップ、ラディッシュ、小松菜を育成



保育園のプール遊びで使用した水を打ち水で再利用

### <江東区アダプトプログラムの清掃活動>

江東区アダプトプログラム（こうとうまち美化応援隊）は、江東区の区民団体や企業が、区道や公園等を定期的に清掃するボランティア活動。SGムービング本社では、「月いちアダプト」に参加登録し、毎月周辺地域の清掃活動を行っている。

春と秋にはグループ会社間で合同開催し、約100名が声を掛け合いながら実施している。



合同クリーンアップ



コースを分けてゴミ拾い



寒い時期は終了後に猪汁を提供